仕様書【別紙】

１　掲載情報の概要（ポイント）・参照先について

（１）全国トップクラスの給与水準（京都市民間保育園等への人件費等補助金）

・人件費等補助金とは、保育園、認定こども園（保育所型、幼保連携型）の職員処遇の安定と向上を図るため、一定の上限のもとで、人件費等に係る収入と、実際の支出（人件費）の差を補助する制度【参考１参照】。

・人件費等補助金により、保育士等について、全国平均を大きく上回る処遇を確保

・本市の保育園、認定こども園（保育所型、幼保連携型）に勤務する常勤保育士の平均人件費（法定福利費等含む）は約５６６万（令和５年度）。

※　全国平均（Ｒ５：保育士約４５３万円）を大きく上回っている（厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の結果に法定福利費を考慮）。

（２）京都市独自の手厚い職員配置

・京都市独自に、国基準を上回る職員配置を実現し、ゆとりを持った丁寧な保育が可能となっている（国基準を上回る部分に係る必要経費について、本市独自で支援）。【参考１参照】。

・人件費等補助金の中で、「１歳児加配」、「３歳児加配」など、基準を超えた、更なる加配が可能な仕組みとしている。

（３）京都府保育士修学資金貸付

・保育士資格取得のための修学資金を無利子で貸し付ける制度。養成施設卒業後に府内の保育所業務に一定期間従事すると、返済が免除

※京都府事業であることを明記

（４）京都市保育人材サポートセンター（具体的な活用イメージ含む）、保育士就職支援研修

・京都市保育人材サポートセンターでは、市内の保育施設の求人情報を紹介します。相談や希望に合った条件調整・見学・面談・復職のための研修など、就職・復職を無料でトータルサポート！

（５）保育士就職準備金貸付

・保育士として就職・復職される方に、就職準備に必要な資金を支援。府内の保育施設に就労後、２年間引き続き従事されると、貸付金の返還が免除。

※京都府事業であることを明記

（６）保育士宿舎借り上げ支援

・遠隔地出身の保育士の方の家賃を１か月最大６．５万円支援！（事業者が借り上げた宿舎の家賃を毎月補助）

（７）ＩＣＴ化支援

・児童の登園管理や保護者との連絡など、保育の周辺業務に係るＩＣＴ化を図るシステムの導入を支援し、保育士の事務負担を軽減、働きやすい職場環境を整備。【参考２参照】

※支援内容としては施設に向けた補助となるため、具体的な支援内容を記載するのではなく、支援によって、働きやすい職場環境を整備していることをＰＲしたい。

（８）未就学児を持つ保育士への支援（保育料・預かり支援の貸付）

・未就学児を持つ保育士の方を対象に、保育料や預かり支援利用料の半額を支援！府内の保育施設において、２年間引き続き従事することで返還免除。

※京都府事業であることを明記

（９）保育士の子どもの優先入園

・京都市では保育申込みの際に優先度判定基準によるポイント制を基に利用調整を行っていますが、府内の保育施設で保育士として勤務する場合、常勤・非常勤を問わず 10 点を加点。これにより、希望する保育園等に入園しやすくなる。

（10）各種就職イベント（保育園就職フェア、就職説明会、保育進学フェア）

・（保育園就職フェア）京都市内・京都府内の保育園・認定こども園約 100 箇園が大集合し、保育園で働く魅力をアピールするステージイベントや各ブースで保育方針や活動内容、採用情報等の説明を実施。

・（保育園・認定こども園就職説明会）京都市内の保育園・認定こども園の園長先生や保育士さんから保育方針や活動内容、勤務条件などの説明を直接受けることができる。就職フェアよりも小さい規模なので、じっくりと話が聞けるのが魅力。

・（保育進学フェア）保育士に興味がある高校生を対象として、京都府内及びその周辺の指定保育士養成校が合同で出展する保育進学フェア。各養成校の特色、学校生活や学費、就職のことや、現役保育士の方から保育現場の魅力や体験談などを聞くことができる。

（11）京都保育士支援ナビ「ほいなび」

・京都で保育士として働きたい人のための情報サイト。京都府内の園情報の他、保育士関連のイベント情報や、保育士の魅力などを発信。

（12）幼保総合支援室Ｘ

（13）発行情報・京都市ロゴマーク

・発行情報は次のとおり。

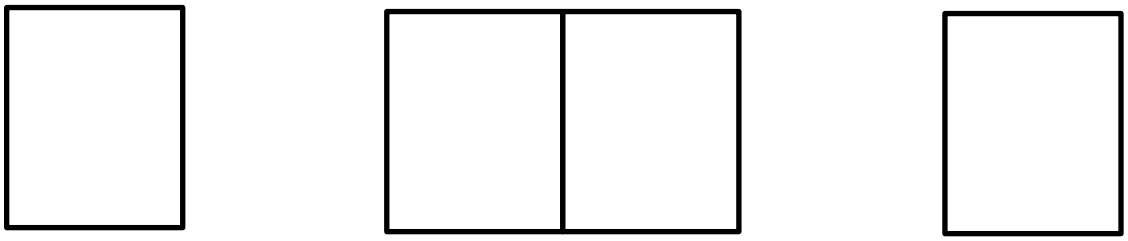
発行：令和７年●月／子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室　京都市印刷物 第〇〇〇〇〇〇号

・ロゴマークは契約締結後にデータ提供予定。

※必要に応じて、ＱＲコードの掲載等により、関連する各種情報ソースへ誘導すること。

２　情報の掲載ページ

①表紙　　②見開き面　　③裏表紙



掲載する内容は次のとおり。

①に掲載する情報

・１（１）、（２）※ＰＲの目玉施策

・②見開き面に誘導する工夫（掲載する情報のキーワードを掲載するなど）

②に掲載する情報

・１（１）～（９）

※「保育士になるための支援（３）～（５）」
「保育士になってからの支援（環境の整備含む）（１）、（２）、（６）、（７）」
「子どもができた後の支援（８）、（９）」と、継続して支援メニューがあることをＰＲ

※（１）（２）については表紙にも掲載するので、情報量は濃淡をつける。

※（４）については裏表紙にも掲載するので、情報量は濃淡をつける。

③に掲載する情報

・１（４）、(10）～（13）